

令和2年度三重県障がい者芸術文化祭（令和2年11月27日及び28日） 知事あいさつ

本日は、令和2年度三重県障がい者芸術文化祭にご来場いただき、誠にありがとうございます。

平成24年度に初めて開催した障がい者芸術文化祭も、県内各地を巡回する形式で毎年開催地を変えて、今年で9回目を迎えます。

本祭は、障がいのある方々が積極的に社会に出て、様々な芸術・文化を通してご自身の持っている能力を存分に発揮していただける場となるよう開催しており、これまで、出品数、来場者数ともに増加するなど、障がい者芸術文化活動の裾野の拡大に寄与してきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い生活様式が変容し、障がいのある方々も大変なご苦労をされていると思います。そのような中でも、創作・表現に対する意欲は充実しており、合計478作品の応募があり、過去最多の作品数となりました。迫力ある作品、のびやかな表現の作品など、素晴らしい作品ばかりで、ご来場いただいた皆様には、限りない力と可能性を体感していただくと考えています。

また、障がいのある方が自身の持っている潜在能力や可能性を発揮し、発表することは、ご本人の自信につながるほか、鑑賞した多くの方々にも大きな感動と希望を与えてくれるものと期待しています。

芸術・文化活動は、障がいの有無にかかわらず、すべての人に楽しみや喜び、生きがいを生み出し、日常生活を豊かにしてくれるものであり、障がいのある方の社会参加の促進にあたって、重要な取組であると考えています。

そのような活動をさらに支援し、障がいのある方の社会参加を一層推進するため、県では、本年9月に「三重県障がい者芸術文化活動支援センター」を開設しました。今後、センターを中心に、障がい者芸術文化活動の支援の強化や、本祭を始めとした多様な発表機会の創出を通して、地域における障がい者の活躍の場を広げていきたいと考えています。

最後に、本祭の開催に当たりご尽力いただいた実行委員会、ボランティアの方々をはじめ、関係者の皆様にご感謝申し上げますとともに、本日参加いただいた皆様のご健勝とご活躍を祈念し、あいさつといたします。

令和2年11月27日

三重県知事 鈴木英敬